

たかのす

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

2月29日現在	(前月比)
総人口 25,595人	(34人増)
男 12,536人	(10人増)
女 13,059人	(24人増)
世帯数 7,093世帯	(7世帯増)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



No.429

町議会議員選挙終わる

55・4・1

3月12日告示、同19日投票の町議会議員選挙も終わり、新しい顔ぶれがまきました。告示と同時に立候補した33人は選挙カーで町内をくまなく巡回、政見の徹底や顔の売り込みなど、激しい選挙戦でした。(関連記事 2・3面に)

新しい議会議員決まる

投票率は91.25%



町議会議員選挙投票結果調

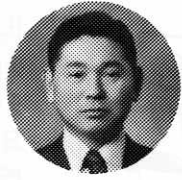
区分 投票区	当日の 有権者数	投票者 数	棄権者 数	投票率
鷹巣東	2,041	1,852	189	90.74
鷹巣西	2,088	1,898	190	90.90
鷹巣北	1,987	1,782	205	89.68
鷹巣南	1,478	1,319	159	89.24
摩当	557	516	41	92.64
太田	397	377	20	94.96
掛泥	821	720	101	87.70
綴子	1,444	1,349	95	93.42
岩谷	89	79	10	88.76
田子ヶ沢	207	200	7	96.62
糠沢	744	692	52	93.01
田中	745	679	66	91.14
坊沢	1,174	1,090	84	92.84
緑ヶ丘	319	289	30	90.60
黒沢	89	74	15	83.15
今泉	450	423	27	94.00
前山	446	398	48	89.24
坊山	169	141	28	83.43
小森	478	434	44	90.79
沢口	519	483	36	93.06
川口	257	239	18	93.00
七日市	1,105	1,012	93	91.58
竜森	220	198	22	90.00
葛黒	288	276	12	95.83
明利又	110	107	3	97.27
計	18,222	16,627	1,595	91.25

当
開票結果は、次のとおりです。
今川清太郎 42 無現 六九七 票
藤島茂男 47 無新 六八六・七 票
佐藤元一 61 無元 六五九・二 票
佐藤元一 49 無新 六五九・二 票
中島喜代 59 無現 六三二 票
今野実 47 公現 五九九 票
三沢実 52 無現 五八八・二 票
佐藤時治 52 無現 五八八・二 票
村上良治 45 無現 五八四・五 票
永井与蔵 52 無現 五七四 票
村上儀八郎 64 無現 五五六・四 票
成田清吉 66 無現 五四一・九 票
久留島清吉 51 無現 五三六 票
清水修智 46 無現 五二八 票
沢田一義 59 無現 五二三 票
花田隆一 40 共現 五一三・九 票

次
武田佐市郎 54 無元 四九九 票
藤内政雄 64 無現 四九五 票
河田隆一 29 無新 四九三 票
小松惣一 59 無現 四六一 票
高橋祐三郎 48 共現 四五六 票
渡辺茂雄 56 無現 四五二 票
細田興市 40 共元 四五二 票
吉岡興 67 無現 四五一 票
花田大四郎 40 無現 四四二 票
間淵久蔵 63 社現 四四二 票
長岐源蔵 47 無現 四三九 票
山田米治 40 無現 四三三 票
藤島絹蔵 47 無現 四二二 票
佐藤雅道 60 無現 四一〇 票
堀内由蔵 57 無現 四〇〇 票
堀内清治 59 無新 三三三 票
成田清治 59 無新 三三三 票
花田隆一 65 無新 一六四・二 票

任期満了に伴う町議会議員選挙は、三月十九日に投票が行われ、同日午後七時三十分から鷹巣公民館ホールで即日開票の結果、現職で立候補した二十人をはじめ、元議員三人、新人三人の当選がきまり、これから四年間、わたくしたちの代表として、町議会の場で活躍することになりました。
なお、投票率は身近かな選挙だっただけに関心も高く、九十一・二五%と好成績でした。





佐藤元一
(綴子小田・農業)



佐藤勇
(新旭町・会社員)



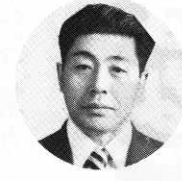
藤島茂男
(綴子下町・農業)



今川清太郎
(糠沢・農業)



新選良26人の紹介



佐藤時治
(摩当・農事組合理事長)



三沢実
(田中・農業)



今野実
(新旭町・新聞販売業)



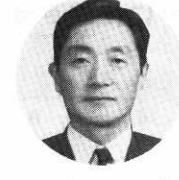
中島キヨ
(有楽町・商業)



成田稔
(栄町・会社役員)



村上儀八郎
(太田・農業)



永井与蔵
(坊沢・農林業)



村上良治
(掛泥・会社員)



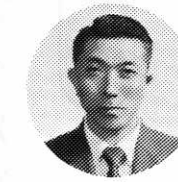
花田隆一
(脇神・農業)



沢田一義
(西横町・新聞販売業)



清水修智
(明利又・農業)



久留島清吉
(岩脇・団体役員)



高橋祐三郎
(綴子上町・会社員)



小松惣一
(綴子上町・農業)



河田隆一
(三吉町・無職)



籾内政雄
(今泉・農業)



武田佐市郎
(旭町・会社役員)



間瀬久蔵
(南田中・会社顧問)



花田大四郎
(南鷹巣・羊毛綿製造販売)



吉岡興
(広小路・整骨師)



細田興市
(あけぼの町・公社職員)



渡辺茂雄
(大町・会社員)

昭和55年度一般会計予算から

いよいよはなにをするか



この町をより住みよく、より豊かに発展させるために

今日、四月一日から年度があらたまり、昭和五十五年度にはいりました。

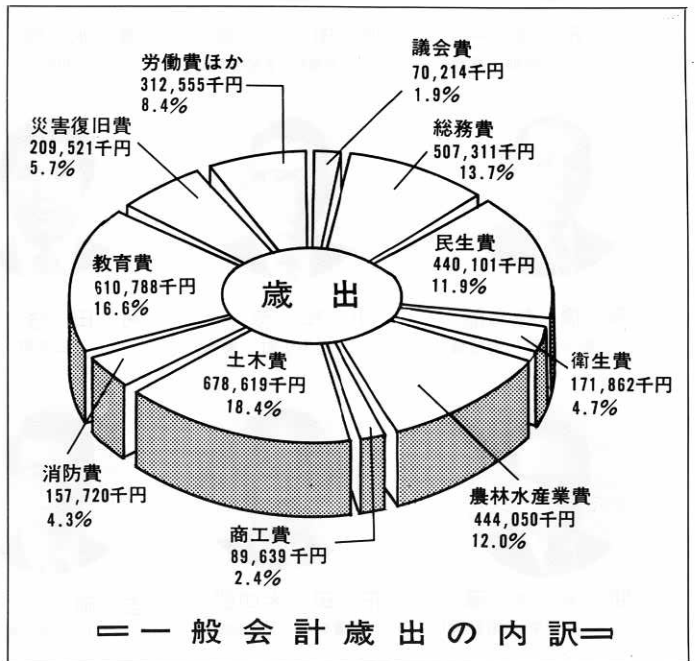
そこで、去る二月に開かれました定例町議会で決定した新年度一般会計予算三十六億九千二百三十八万円のなかから、主な事業などを抜粋してお知らせします。

交通安全対策を推進

総務費

五億七百三十一万円で、歳出全体の構成比は十三・七％。前年度当初予算に比べ、伸び率は十一・三％の増。

総務費には、総務、企画財政、町民、税務、管財の各課の人的費や物件費等の経常経費が予算化されているほか、鷹巣阿仁広域圏組合負担金、参議院議員選挙費、監



査費、交通安全、協力委員、納税組合などに関する費用や、十月一日に実施される国勢調査費などが計上されています。

役場の電話料や郵便代に 八百五十二万円
ゼロックス借上料 四百五十万円
広報発行 四百八十一万七千円
財産の管理に 三千二百九十九千円
交通安全対策に 七百一萬四千円

各財産区から老人クラブ等に対する補助金ほか 一千五百三十三万八千円
町村会ほか期成同盟会などの負担金 三百七十四万二千円
米内沢病院建設負担金 三百万円
広域市町村圏組合負担金 六千七百七十五万五千円
町税前納報償金 百七十万円
納税組合事務補助および奨励金 四百二十万円
協力委員および部落への交付金 四百一十一万七千円
参議院議員選挙費 四百五十四万二千円
国勢調査費 五百七十七万二千円

社会的弱者対策を強化

民生費

四億四千十萬千円で、構成比十一・九%。伸び率は五・九%の増。本年度も福祉活動の拡充強化を図るため、社会福祉協議会に心配ごと相談、ボランティア活動、福祉活動専門員、老人家庭奉仕員および介護人などを委託、社会的弱者対策の活動を推進します。

また、身障者のバートヘルパー、重度身障者バス無料券、同入院介護見舞金の支給。それに昨年度で補助打ち切りとなった在宅ねたきり老人寝具乾燥料、老人福祉大会費などを町単独で予算化しています。

- 民生委員活動補助 二百二十四万円
- 町浴場組合補助 七十五万円
- 青山荘施設整備補助 百六十三万四千円
- 敬老会関係 八百五十万七千円
- 老人クラブ補助 二百四十三万五千円
- 老人クラブバス借上げ 百三十二万円
- 家庭奉仕、介護人等委託に 五百六十八万三千円
- 身障者バートヘルパー、バス無

各種検診の向上を図る

衛生費

一億七千八百八十六万二千円で、構成比は四・七%。伸び率は六・四%の減。

町民の健康管理のため、予防医学を重視。保健思想の普及と成人病検診を始め各種検診の徹底を図りながら、早期発見、早期治療の徹底と衛生思想の向上に努めるとともに、健康で快適な生活を営むため、清掃と塵介、し尿の収集処理の徹底を期します。

保健指導員報酬 百九万六千円
成人病予防対策事業検診委託 六百六十六万五千円
保健室嘱託 百五十万円
結核予防費 三百六十九万九千円
予防接種、伝染病関係 四百八



- 料券、入院介護見舞など、百九十六万四千円
- 老人、福祉医療委託料 百七十七万六千円
- 老人医療給付 一億一千五百三十四万四千円
- 福祉医療給付費 三千九十六万

- 六千円
- 私立保育所運営補助 三百九十九万円
- 児童手当 二千三百二十万八千円
- 町立保育園に 六千六百五万五千円
- 児童館費 六百二十万二千円
- 国民年金事務に 一千九百七十四万四千円

農道など基盤整備を推進

農林水産業費

四億四千四百五十万円で、構成比は十二%。伸び率は十七・九%の増。

水田再編対策事業の長期化を見込み、水田の畑地化としての基盤整備、土壌改良を図り、栽培の機械化、省力化の指導と保管・貯蔵価格の安定をすすめます。

また畜産については、昨年は価格の暴落等、打撃を被ったが、飼料の自給率と購入飼料の価格安定を図りながら、疾病予防の助成措置をなし、畜産農家の立ち直りと経営の安定に努めます。

農地・農道については、その整備を図り生産性を高めるとともに、林業については、植林と保育管理、林道網の整備の徹底を図りながら、町の基本財産の造成に積極的に取り組むこととしております。

農業委員会に 二千八百十六万二千円
制度資金利子補給 六百四十二万六千円
カドミ汚染対策 百七十四万千

- 消防栓維持管理 五十八万二千円
- 環境衛生に 二百三十四万千円
- 墓地公園特別会計繰出金 一千八百三十四万四千円
- 公害対策に 八十八万九千円
- ごみ処理に 三千三百四万五千円
- 集落農場化対策事業補助 二百九十万九千円
- 水田利用再編対策費補助 一千五百万円
- 草地整備事業 九百万円
- 家畜予防接種補助金 二百万円
- 畜産振興対策補助金 二百万円
- 生産利用合理化促進事業補助 九百九十万二千円
- 家畜導入牛償還金 二千三百四十万九千円
- 山村振興施設管理費 三百九万九千円
- 農道整備事業 一億二千五百九十一万三千円
- 地籍調査 一千五百一十四万四千円
- 入会林野作業道開設等林業振興に 一千六百二十二万三千円
- 林道補修材 百五十万円
- 町有林の植栽、下刈、枝打、除伐、旅費などに 四千二百五十一万五千円
- 林構事業(黒森線林道九百計、柵の木岱六百計) 五千六百万円
- 林構葛黒集会所建設 一千三十二万四千円
- 林構事業補助(森林組合等) 一千九百三十九万五千円

出かせぎ者に 互助会加入を促進

○・五%。伸び率は十七・六%の増。
一千九百七十七万円で、構成比は

労働費

労働金庫、労働者信用基金協会に対し、預託金を増額して労働福祉の向上を図るとともに、出かせぎ対策では互助会加入の徹底と健康診断の実施、安全就労の指導に務めます。

また、技能労働者の養成のため、技能学校に対し運営費の補助を継続して計上しております。

失業対策事業 八百一十一万八千円
建設技能学校運営費補助 五十万
労働金庫預託金 五百万円
労働者信用基金協会預託金 二百五十万円
同出損金 三十万円
出かせぎ対策に、二百五十五万

預託で経営資金 の円滑化を図る

商工費

八千九百六十三万九千円で、構成比は二・四%。伸び率は六%の

増。

商工業者の経営資金の円滑を図るため、新年度は県保証協会保証料と商工中金財政資金預託金を増額しました。

その他、中小企業振興資金の預託、商工会および観光協会への補助等を継続して行うとともに、制度資金の活用を指導していきます。
商工会補助 二百五十万円

道路の改良舗装を促進

土木費

六億七千八百六十二万九千円で、構成比は十八・四%。伸び率は四%の減。

道路の改良、舗装の促進は、町の重点施策の一つとしており、町道の改良では坊沢、前山線ほかを

県保証協会保証料 二百二十五万円

中小企業振興資金預託金 五千万円

商工中金財政資金預託金 一千万円

県保証協会出損金 五十八万円

観光費 百六十三万三千円

消費者行政推進費 六十三万三千円

町営住宅は、南鷹巣団地に二十四戸建設します。

除雪ドーザ購入 一千四百万円

二トントラック購入 百八十五万円

道路維持費 二千三百八十八万六千円

除雪機械等借上 五百五十万円

側溝改良工事 一千五百万円

道路補修用資材 一千万円

道路改良工事委託料 八百九十六万円

道路改良工事 一億七千万円

舗装新設工事 七千万円

道路用地買収、補償費 一千五百万円

橋梁維持費 五百四十万円

含め約四千、舗装は大堤、昭和線ほかを含め七千と、排水工事橋梁工事をすすめます。

また都市計画事業では、昭和五十七年度から実施予定の公共下水道の基本的計画の見直しと、下水道法の規定による事業認可および都市計画道路の決定。さらには公園整備として、中央公園の一部道路を舗装します。

橋新設改良費 一千四百六十万円

河川護岸工事および用地買収費 四百五十万円

公共下水道基本計画策定調査委託料 二千万円

都市下水路事業費 二千八百七十九千円

陸上競技場工事 三千万円

都市公園整備事業(園路舗装等) 三千六百二十六万九千円

住居表示費 五百四十七万円

住宅管理費 三百八十六万七千円

住宅建設費 一億四千七百二十万八千円

災害住宅利子補給補助 四百二十七万三千円

消防施設の充実を図る

消防費

一億五千七百七十二万円で、構成比は四・三%。伸び率は三・四%の増。

広域消防組合負担金が全体の七十九・四%を占めており、この率は年々上昇しております。消防・防災対策については防火水槽、消火栓は地域の特殊性を考慮し、消火機器の更新とともに年次計画により順次整備し、町民の生命、財産の擁護に務めます。

広域消防組合負担金、一億二千五百七十七万七千円
団長、団員の報酬 四百六十六万八千円

火災出場費用弁償 百六万五千円

訓練大会出場 九十八万二千円

春秋防火警戒 百六万五千円

消防大会等旅費 七十五万七千円

修繕費などの需要費 二百二十四万九千円

消防ホース等備品 三十八万二千円

消防補償組合等負担金 五百四十万五千円

消火栓新設工事 二百十五万円

防火水槽新設工事 五百四十万円

消防車・小型動力ポンプ購入 三百九十万円

災害対策 二百四十六万二千元



教育の質的深化を推進

教育費

六億一千七十八万八千円で、構成比は十六・六％。伸び率は五・八％の増。

教育への関心、期待が大なること、一層の整備拡充を図り、質的深化を期してまいります。

- 幼稚園就園奨励補助 四百八十八万五千円
- 町内私立学校補助 百十万円
- 教職員校内教科研究補助 五十八万五千円
- 遠距離児童生徒通学費補助 八百三十万八千円
- 学校教育推進特別助成補助 六

- 十万円
- 理科教育センター 九十六万三千円
- 教育研究所 百九十七万七千円
- ▽小学校費 一億四千八百十四万三千円の主なものは……
- 宿直代行員等の賃金 七百七十二万五千円
- 新入学児童ランドセル購入 百六十三万二千円
- 消耗品費 一千二百八十九万九千円
- 燃料費 一千三百三十七万八千円
- 光熱水費 八百七十一万円
- 修繕費 二百九十二万円
- 児童および教職員各種検査に 百六十八万円

- 学校整備諸工事 二千五百万円
- 教科諸材料 百七十三万六千円
- 学校用備品に 三百五十万円
- 教材および理科備品に 六百四十九万四千円
- 準用保護児童の学用品、修学旅行などの補助 三百四十九万九千円
- ▽中学校費 八千六百七十万三千円の主なものは……
- 宿直代行員賃金 二百二十四万六千円
- 消耗品費 七百四万円
- 燃料費 四百三十五万五千円
- 光熱水費 二百六十六万六千円
- 修繕費 百二十万円
- 各種検査委託料 百二十万円
- 学校整備工事 一千九百八万四千円
- 教科諸材料 百二十万円
- 学校用備品 二百五十万円
- 各種大会参加補助および負担金 二百三十二万二千円
- 教材備品 二百四十八万四千円
- 準用保護生徒の学用品、修学旅行などの補助 二百七十七万二千円
- 寄宿舎および集団宿泊所費 一千四百十三万三千円
- ▽幼稚園費 二千八百八十六万八千円
- ▽社会教育費 六千七百九十一万五千円の主なものは……
- 各種委員や指導員の報酬 二百二十九万五千円
- 各種団体への補助 二百四十二万九千円
- 公民館各種講座講師謝金 百九十九万円
- 公民館の燃料費など需要費に

- 七百五十九千円
- 分館の管理委託など 四百六十六万三千円
- 公民館備品 百万円
- 図書館費に 二百三十万七千円
- 文化振興費に 百五十八万八千円
- ▽保健体育費 二億三千二百五十七万三千円の主なものは……
- 各種大会賞品 九十万円
- スポーツ災害保険 四十一万二千円
- 各種大会および出場補助 五百六十六万円
- 総合運動場の整備に 百八十九万四千円
- 体育館の環境整備や運営に 二千二百五十三万円
- 勤労者体育センター(プール)に 二百九十二万七千円
- 小中学校の給食に 一億九千六百五十八万七千円

その他

- ▽議会費 七千二百二十四千円で、構成比は一・九％
- 議員の報酬 三千三百六十六万円
- 議員の旅費および費用弁償 三百八十二万円
- 議長会負担金 百八万五千円
- なお、新年度より年四回、議会だよりが発行されます。
- ▽災害復旧費 二億九百五十二万二千円で、構成比は五・七％
- 農林災害(農地・施設・林道) 一億一千八百五十二万五千円
- 公共土木災害 九千九十九万六千円

町長日誌

3月1日～3月15日

- 2日 鷹巣高等学校卒業式 田中部落敬老会 入学おめでとう大会
- 3日 鷹巣農林高等学校卒業式 青年と語る会
- 4日 営林署との連絡協議会
- 6日 社会福祉協議会評議員会
- 7日 鷹巣女子専門学校卒業式 町内医師会との業務協議会
- 10日 秋田県市町村農業構造改善対策協議会理事會・総会
- 11日 秋田フィンランド協会理事會 秋田市 糠沢老人クラブ大会
- 13日 町協力委員全体會議 米代川水系水質汚濁対策連絡協議會、幹事會合同會議 能代市 鷹巣中学校卒業式
- 14日



住民と役場のパイプ役

協力委員全体会開く

永年勤続者に感謝状

日頃あらゆる分野で、町役場と住民のパイプ役として活動している協力委員の全体会議が、三月十一日午後一時三十分から鷹巣公民館ホールで開かれ、出川町長の行政報告や協力委員からの質疑など、およそ二時間にわたり熱心に話し合いが行われました。

会議では、最初に出川町長が日頃のご労苦に対して深く感謝を述べるとともに、教育、福祉、水田

再編対策、道路、保険衛生など町政全般について報告。町民各位の協力で町政は順調に推移して



このあと、役場の各課室長からの連絡事項として、明くる日正しい選挙、災害復旧、消費者会議の設立、青少年の健全育成、議会の配布依頼、各種募金に対するお礼、交通災害共済への加入促進、火災予防、国民年金などについて、それぞれの連絡とお願いが述べられました。続いて、協力委員からの質疑に入り▽国道一〇五号線舟見町地内に歩道を▽消防署のサイレンを町の中央に▽道路の改良舗装の促進▽防犯灯の増設▽旧町に老人

用集会所を▽住居表示についてなどができました。出川町長は、これらに対する答弁のなかで、住居表示は去る二月の町議会に継続審議と決まり、審議未了廃案となったが、住居表示は是非必要なので、住居表示審議会から答申のあったとおり、六月定例町議会に再度提案することを明らかにしました。

なお、会議に先立ち、協力委員として永年勤続(七年以上)した次の八人の方に感謝状と記念品を贈り、その労をねぎらいました。長岐吉治(栄町) 柏木四良(南鷹巣三十二区) 堀部美津夫(同十三区) 中島健一郎(舟場) 佐藤福治(妹尾館) 村上忠吉(掛泥一区) 三上兵一郎(黒沢) 佐々木嘉一郎(坊沢新屋敷)

「沢口区域の一部で」不燃物を月二回に

沢口区域(四渡、坊山、湯ノ岱)は、今まで第四金曜日だけ不燃物を収集していましたが、あらたに第二金曜日を加えて月二回の収集を行います。

なお、ごみ収集日でない日にごみを出している人が見受けられます。ごみは決められた日に出すようにしてください。

福祉手当の支給は

四月七日です

お忘れなく!!

郷土史年表

西暦	年号	事項
一六二四	寛永一	(全国諸侯の妻子を江戸に置かせる) 秋田でキリスト教徒百二十三人死刑
一六二五	寛永二	八月二日、米代川に未曾有の大洪水あり、俗に「白髭の大水」という。この洪水で河道が遷り摩当袋の地形が変る。
一六二六	寛永四	七日市観音堂に竜泉寺開山
一六二八	寛永六	大館給人 近藤五郎兵衛、摩当悪土新開の差紙を拝領
一六四三	寛永一九	坊沢古屋敷崩れ、居住不能のため現在地に移住し、お堂を建てて一郷の鎮守とす。
一六四四	正保一	大向村開村、その場所は観音堂の川向に引越す。三ツ屋と称す。
一六四八	慶安一	小山縫殿之丞、斎藤伊勢と志を同じくし、開発の事業を行う。淨運寺の一字を建て、伊勢肝煎となる。
一六四九	慶安二	皇太神宮、愛宕山、八幡宮の三社を建立す。鷹巣村三十戸、高二百六十九石余。
一六五〇	慶安三	四月、坊沢に検地あり、分米二百八十九石三斗、二十九軒、寺、山伏肝煎屋敷等六軒、蟹沢五軒、大野尻三軒(この年の開村)くるみ館六軒、権助羽立十六軒、狐台七軒
一六五一	慶安四	親郷肝煎制度定められ、高橋弥兵衛親郷肝煎となり鷹巣、太田、長坂の肝煎を支配した。
		久保田大火二千余焼失 (三代將軍徳川家光死ぬ 四十八歳) (次号に続く)

国民年金

住所・年金支払機関の

変更届はお早く

国民年金を受けている人が、自分の住所や、年金を受け取る銀行、郵便局を変更したときは、すぐに「住所・支払機関変更届」を提出してください。

口座がすでになくなっているために、年金の振り込みができなくなったりして、ご本人はたいへん困ることになります。住所、支払機関変更届の提出先は次の通りです。

もし、住所変更届が遅れますと金融機関や郵便局への年金振込、支払通知が、あなたの旧住所へ送られてしまいます。また、支払機関変更届が遅れますと、以前の銀行や郵便局の振込、支払口座へ年金が振り込まれるか、

- ▽老齢年金、通算老齢年金
- ▽東京都杉並区高井戸西三の五の二四 社会保険庁年金保険部 事務第二課
- ▽障害年金、母子年金、準母子年金、寡婦年金、遺児年金

- 建設省大館国道出張所では、国の「石油消費節減対策」の一環として、国道七号線の道路照明灯の一部を、三月末から消灯することになりましたので、沿道住民および道路利用者のみなさんにご協力を願っております。
- 消灯する箇所は次の四灯です。
- ▽鳥越のドライブイン前、山側一灯(道路側は点灯)
- ▽竜ヶ鼻トンネル坑外灯、能代側一灯、大館側一灯
- ▽前山部落、前山駅前、連続三灯のうち中一灯

役場町民課年金係

「国道七号線の照」

「明灯を一部消灯」

春の交通安全運動

4月6日(日)～4月15日(火)

目的

すべての住民に交通安全思想を普及徹底し、正しい交通ルールと思いやりのある運動マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図る

重点

- ☆歩行者、特に新入学(園)児を中心とした子どもの交通事故防止
- ☆自転車の安全利用の促進
- ☆安全運転の確保とシートベルト着用の推進
- ☆飲酒運転の徹底追放



4月は消雪期交通事故防止月間



花祭り



代わりに使います。こうすると習字が上達するといわれているからです。

一方、お花見の花祭りの方は四月八日と限らず、サクラの咲くのに合わせるので、地方によってまちまちです。

「子どものころ、新入生がサクラの花の下で入学式をやっている絵を見て、不思議でたまらなかつた」といった北海道の人。北海道でサクラが咲くのは五月ごろですから、むりもありません。

ちなみに、各地のサクラ祭り、花祭りは、沖縄の名護城跡では、一月二十五～二十九日、東京の上野は四月一日をはさんで二週間ぐらゐ、そして北海道の根室では、今年六月七～八日。南と北では、ずいぶんちがうものです。



花祭りというのは、本来は、灌仏会と呼ぶ、釈迦の誕生日を祝う仏教の行事のひとつです。ところが最近、観光行事としてのサクラの花祭りが各地で盛んになってきて、混同されているむきもあるようです。仏教の方の花祭りは釈迦の誕生日である四月八日。サクラの花などで飾った小さなお堂を作り、その中に甘茶を入れた水盤をおいて釈迦像を安置し、参拝者はひしゃくで仏像に甘茶をかけるというのが多いようです。甘茶は、アマチャという植物の葉を干して作ったもの(またはアマチャヅルという植物を使う)で、参拝者は、これは飲むほか、習字の墨をするのに水の

特選に選ばれたみなさん



第15回読書感想文コンクール

入賞おめでとう

畠山さん(南)に最優秀賞

第十五回鷹巣町読書感想文コンクールの表彰式が、三月八日午後一時三十分から鷹巣公民館で行われました。

今回の応募作品は、小学校百九十点、中学校七十点、高校十六点、一般七点の計二百八十三点。このなかから部別(学年)に特選十一人、入選四十七人、佳作四十七人

点が選ばれ表彰を受けました。

また、特選のなかから南中学校三年畠山美由紀さんの「智恵子抄」の感想文が「最優秀賞」に選ばれました。

なお、表彰式では選者を代表して朝日了回先生が講評。作品朗読は、特選入選のなかから綴子小六年三沢貴子さん、南中三年の畠山美由紀さん、鷹農二年安部茂樹君の三人が、また、体験発表は鷹小PTA成田敦子さん、東小PTA大山洋子さんの二人が親と子どもと一緒に本を読む体験をそれぞれ述べました。

特選と入選に選ばれた方は、次のとおりです。

〔小学一年〕▽特選「もん太と大いのしし」堀口克全(鷹巣)▽入選「佐藤リカ(鷹巣) 高橋じゅん、畠山たかゆき、三沢康平(綴子)

〔小学二年〕▽特選「くさいろのマフラ」吉田優子(中央)▽入選「大山真理子、神成知宏、松田誠仁(鷹巣) 成田さえ子(綴子) 戸島淳子(西)

〔小学三年〕▽入選「原田伸子(鷹巣) 高橋伸、藤島博文(綴子) 成田貴人(西) 高杉英児(中央)

〔小学四年〕▽特選「ああ無情」小坂亜紀子(東)▽入選「佐藤美枝(鷹巣) 藤島優子(綴子) 戸島隆義(西) 小林陽介(中央)

〔小学五年〕▽特選「オーロラの下で」成田明子(鷹巣)▽入選「伊藤奈津代(鷹巣) 小川英之、大山暁子(東) 伊藤永吏子(綴子) 成田康浩(中央)

〔小学六年〕▽特選「杜子春」三沢貴子(綴子)「ジャンボッコの伝説」成田由美子(同)▽入選「成田修(鷹巣) 鎌田博子、藤島明美、長崎恭子(西) 柴崎友子(中央)

〔中学一年〕▽特選「素直な戦士たち」末永めぐみ(鷹巣)▽入選「神成智子、工藤雅子、田中靖子、武藤正子、武田直子(鷹巣)

〔中学二年〕▽特選「思い出」一関ゆかり(鷹巣)▽入選「河田富美香、津谷真智子、工藤渉、児玉久美子、佐々木真弓(鷹巣)

〔中学三年〕特選「智恵子抄」畠山美由紀(南)▽入選「九島栄子(鷹巣) 後藤秀美、千葉由美子(南)

〔高校〕▽特選「狼なんかこわくない」安部茂樹(鷹農二年)▽入選「根本隆嘉(同一年) 根田勉(同二年)

〔一般〕▽特選「アラスカ物語」佐々木正男(鷹農教員)▽入選「佐藤光子(南鷹巣) 戸島恵子(坊沢) 石沢ゆり子(寺田専門) 斉藤裕子(南鷹巣)

国民年金の特例納付制度は

六月三十日までです

春の火災予防運動



これくらいと思う油断を火が狙う

期間 4月6日～4月12日

☆昨年の火災発生状況

件数	10件
死者	1名
焼失棟数	11棟
損害額	1億5千万円
罹災世帯数	8世帯

公民館定期講座生募集

心の文化を求め、明るい生涯



鷹巣公民館では、町民の皆さんの望んでいる学習や趣味を深めるお手伝いとして、定期講座を開設しています。受講希望の方は、四月二十日まで、住所、氏名、電話番号、希望講座名を、公民館（電話二二一三〇）まで申し込んでください。

定期講座開設要項は次のとおりです。

- 受講対象者は初心者とします。
- 受講申し込み者一〇名以上を以って開講します。
- 講師謝金については公民館で全額補助します。
- ※ 受講希望者が少ないため開講できない場合は個人あて連絡します。

自主運営講座について

- 会場のあっせんをします。
- 講師謝金、その他運営費について受講者負担とします。

募 集 す る 講 座

講 座 名	開講日・時・曜日	開設期間	回数	内 容
郷 土 史	第2、4(木) 7.00~9.00	55.5~55.10	12	・郷土の歴史について学ぶ
尺 八	第1、3(土) 7.00~9.00	//	12	・尺八の吹き方、楽譜の読み方
囲 碁	第1、3(土) 1.00~4.00	//	12	・囲碁の初歩的な定石について（高校生も可）
七 宝 焼	第2、4(土) 1.00~4.00	//	12	・手軽にできる焼物について
リ フ ォ ー ム	第2、4(土) 1.00~4.00	//	12	・省エネ時代に対応し、古物の再利用について
英 語 会 話	第2、4(金) 7.00~9.00	55.5~56.2	20	・正しい発音から、日常のやさしい会話まで
陶 芸	第1、3(土) 1.00~4.00	//	20	・素焼から給付まで

自 主 運 営 講 座 （開設期間 55年5月~56年2月）

講 座 名	開 講 日 時・曜 日	講 座 名	開 講 日 時・曜 日
毛 筆	第1、3(日) 10.00~12.00	日 本 画	第2、4(日) 10.00~3.00
華 道	第1、3(土) 1.00~3.00	民 謡 舞 踊	第2、4(土) 7.00~9.00
和 裁	第2、4(木) 1.00~3.00	日 本 舞 踊	第1、3(土) 7.00~9.00
謡 曲	第1、3(土) 2.00~4.00	詩 吟	第2、4(土) 1.00~4.00
フラワーデザイン	第2、4(土) 2.00~4.00	マ ン ド リ ン	毎週金曜 7.00~9.00

地域のために 燃えあがる学習意欲

明日への公民館



明年度は「部落自治公民館のあり方」の具体例を出したい。青少年教育では、学級教育とのつなぎを密にすることを主眼としている。婦人会と若妻学級との新しい体制づくりもすすめたい。

活発な青年活動（七座）

生活改善（冠婚葬祭）については十年前から要項をつくり各戸に配布し部屋に貼って一目でわかるようにしてある。青年達はお盆に筏で大館から能代まで米代川を下る、という若者らしい行事を毎年行っている。「高校生を持つ親の会」も計画的によく活動している。明年からは祝日に国旗掲揚することすすめていきたい。

全地域のつなぎを（七日市）

老人クラブが正月のシメ縄作りで収益をあげ、子供会との行事を催し有意義であった。青年達は月に二、三回集まり道路のクリーンアップ作業や、独り暮らし老人の家の屋根の雪降しをしてくれた。地域が広く、集落の数が二十もあるので、明年度は部落自治会長会を開き、公民館活動の浸透をはかりたい。

青少年健全育成（栄）

青少年の健全育成を柱に公民館活動を進めてきた。新成人の講座、青年学級の学習を数年前から継続実施し、成果を挙げている。各部落の若妻グループの家庭教育学習では、田沢・李岱、大沢は毎月夫婦で学習をしている。三月には「移動公民館」を開いている。

公民館運営審議委員・分館長・主事の合同会議は、去る三月十二日開かれ、五十四年度事業実績と新年度構想を話し合った。各地域の状況は、大要次の通りである。

集会所で活発化（鷹巣）

旧鷹巣地区は太平町に集会所ができたので三吉町・福住町などを含む西部地区のコミュニケーションの環が広まり、学習活動が活発化しつつある。太平町には「農友会」が誕生し毎日集まっているし、仲町・横町の婦人学級も中央保育園を会場に月一回の学習をしている。

花いっぱい運動（綴子）

今年、各団体長、部落代表で生活合理化と青少年健全育成について話し合った。綴子全域に「花いっぱい運動」をすすめている。

分館報・分館祭（坊沢）

農協から種子をもらったが苗作りに失敗したので、苗作り講習会を開いて万全を期したい。菊作りの講座も喜ばれ、受講者が多い。

毎月発行の分館便りは、七九号を重ね、公民館行事がよく理解されている。普及所の後援による「農業講座」と、盆栽・花壇の同好会「花と緑の会」は五十名以上の会員で成果をあげている。分館祭りも今年には六回目で二百点もの作品が集まり盛況、新年度は、青少年の健全育成と生活合理化に力を入れたい。

部落自治公民館（沢口）

十六部落の自治会長会を結成し、年四回の研修会を開き、部落予算の検討、先進地視察などをした。

部落訪問



たかのす じり尻
＝高野＝

三月十四日、雨まじりの雪の降る中を町会議員立候補者の車が叫びながら走っていた。太田部落から糠沢に出る狭い道を通り、太田部落の産土神、神明社を過ぎるとまもなく左手に「高野尻・高野尻団地入口」と書いた表示板が立っている。その道を百米程進むと橋があり、そこが高野尻である。

右手東側は開田記念碑のある開拓部落で現在は非農家も合わせて十九世帯ある。左側の通りを少し進むと設備の整った遊園地があり町営住宅「高野尻団地」が、生垣を前にして整然と並んでいる。遊園地と集会所は共同使用であるが、この二つの集落の自治組織は別々になっている。昭和二十二年に入植され、稲作と肉用牛、二十頭飼育の農家を営営しておられる村上孝四郎さん宅を訪ね、いろいろ聞いた。終戦直後の食糧不足は深刻で当時の綴子村は、二・三男対策として原野を開放し、「昭和」と「高野尻」に開拓部落をつくった。ここ高野尻は掛泥部落の堆肥用採草地であったが、一世帯



高野尻団地

当り二・五haを与え九世帯入植させた。

開こん用の重い鉄でツツジ株を掘り起し畑をつくり、大小豆や馬鈴薯、南瓜などを植えたが、火山灰の瘠土で収穫は少なかった。政府から二万円借りて十坪の家を建てたが、電灯がついたのは昭和三十五年であった。荷車を引いて陸稲の草取りに出かけ、暗いランプのもとで子供等を育てた生活を今考えると、何をどうしてきたのかよくわからない。と村上さんの奥さんは語っていた。

昭和三十一年には一千万円の資本を借りて十五haの水田化に成功、その後、牛や豚を導入するなど生活は安定した。

昭和四十三、五年には町営の住宅団地が近くにでき土地の状況は一変してしまった。かつては、奥羽線の車窓から見えた高野尻の小さな家々であったが、今は広々とした大邸宅の並ぶ別天地になっている。

(公民館長 長崎 久)

みんなの広場



なにわす

別名えそおにしばり。
春に早く咲く山の木。枝は鬼をしばれる程強い。
(南小・阿部達雄先生)

P T A 活動の課題

今 泉 中村 幸雄 (49)



P T A が結成されて三十年、P T A は学校行事への

参加協力はもとより、学校の教育環境整備充実のため果してきた役割は、大きなものがありました。しかし今日、子どもをとりまく生活環境を見ると、有害出版物のはんらん、さらに子どもの少ない家庭の増加から、子どもへの過保護が子どもの意欲と自立心を失い

させ、非行化に走る子どもも多く、その健全育成を阻害する状況が年々増大しつつある現在、P T A 活動も新たな視点から検討する必要にせまられていると思われまふ。このようなことから、子どもの生活の場である家庭、学校、地域社会、この三者が連携し、共通の立場に立つて、それぞれの教育的役割をはたしていくことが必要かと思われまふ。

育をすすめるために必要な家庭の協力と、家庭教育の方法等の学習が必要になってきます。このことを考えてみますと、P T A の学習活動が重要な会活動の中心的位置を占めることはいうまでもありません。しかし最近、P T A の学習活動に参加者が少ないという声を聞くことがありますが、それは会の開催の方法などの改善で解決できると思います。会員のひとりひとりが、子どもの健全な成長を願う共通の目的を深く認識し、それぞれのP T A 活動に参加し学習することが、子どもの健やかな成長に連なる大切なことと思ひます。

わたしのおばあちゃん



わたしのおばあちゃんは六十九さいですが、あさ早くからいんさつこうばについて、しごとをしています。あさごはんのとき、わたしは「おばあちゃん、ごはんですよ」と、むかえにいきます。しごとのことになると、こわいおばあちゃんですが、おにいちゃんやわたしには、とてもやさしいおばあちゃんです。

広報のしおり

エープリル・フール 四月一日
はエープリル・フール、この日は社会の秩序を乱さないかぎり、ウソをついても怒られないことになってます。この俗習の起こりはいろいろあ

たかのす文芸

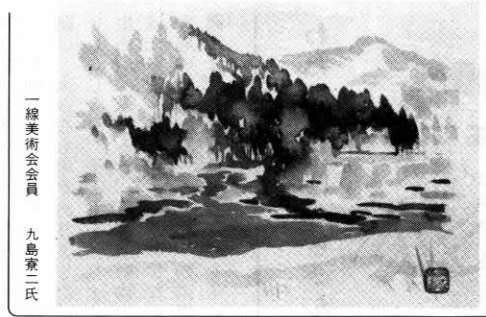
春の町

米代町 佐多田 英一

山には薄く雪が残り
冷たい風が人々の頬をふるわせて
少しづつ春が見えてくる
町の端々には
汚れた真新しい家が建ち並び
かつての春の小川は土管の中
ツクシは もう
はえる場所を持たない
けわしい眼をした人々が行き交い
北の町も都会のように
見知らぬ人が多くなった
一体いつから この町も……
リトル・トーキョーと
誰かがこっそり真似をしてつぶやいた
春ハ何処カラ来ルカシラ
アノ山越エテ 里越エテ……
春の町はいつも無口だ

るが、一説ではフランスのシヤルル九世が一五六四年に、それまでの三月二十五日の新年を、一月一日に改め直したが、この改正を喜ばぬ人々は旧暦通り四月一日までの正月を樂しみ笑いの種をまいたのが起こりであるというもの。
また一説ではインドの仏教徒は三月二十五日から一週間の苦行を行行すが、四月一日には疲れてボロとなるので、そういう人々をからかう行事が一般化したというもの。
いずれにしても俗説にすぎずどれが正しいかはわかりませんが、ナポレオンが、ウオータートで敗けたのは重大な情報で四月一日に届いたため本気にしなかつたからだ、という話もあります。

おしらせ



一繪美術会会員 九島兼二氏

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの際は母子手帳を忘れずにお持ちください。また、今月の母親学級は、妊婦体操と妊娠前半期の注意について。時間は、午前十時半から十一時半まで。

※場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

◇ 離乳食実習指導は、十七日(五)十四年九月生まれとなっています。受付時間は、午前九時半から十時半まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◇ 乳児健康相談は、十七日(五)十四年十二月生まれとなっています。受付時間は、午後零時半から一時まで。

※場所は、いずれも鷹巣保健所で。

◇ 一歳六カ月児健康診査は、三日(五)十三年八月生まれと九月生まれとなっています。受付時間は、午後一時から二時まで。鷹巣公民館ホールで行います。おいでの際は、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。

◇ 未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦(助産婦)による妊婦訪問を行います。

◇ 四月は、▽四日(日) 沢口・七日(水) 地区 ▽十一日(日) 七座・坊沢地区

妊婦訪問

▽二十五日(日) 綴子地区となっています。訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

予防接種

生後三カ月から十八カ月までの乳幼児を対象に、経口ポリオワクチン(小児マヒ生ワクチン)の投与を行います。予備期間として、四十八カ月まで投与できます。

投与日は、鷹巣地区以外の方は十日、鷹巣地区の方は十一日です。以前一回しか投与されなかった場合は、必ず二回目の投与を受けてください。

受付時間は、午後一時から午後二時まで。鷹巣公民館保健相談室で行います。

※禁忌と注意
生ワクチンに関する一般的な禁忌である免疫産生機能に異常ありと想定される場合は、投与をいたしません。その他、下痢患者も治療してから投与します。生ワクチン投与当日の入浴はさしつかえありません。母子手帳は、必ず持参してください。

婦人週間講演会

四月十日は、我が国の婦人がはじめて参政権を行使した日です。この日を記念して一週間、「婦人週間」として全国的に諸行事が展開されます。

秋田県では、四月十六日午後一時から、県正庁において活動事例

発表、パネルディスカッションのほか、評論家・吉武輝子さんの講演「いま婦人に求められているもの」が行われます。

参加を希望される方は、四月十四日まで秋田県労政課(電話 秋田六〇一―一七二一)、または秋田婦人少年室(秋田六二―六六八四)に、氏名、住所をお届けください。電話でも結講です。参加料は無料。

善意

このほど鷹巣高校J.R.C.の方から、社会福祉のためにと一三、一一一円、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽藤株 畠山亮司さんから亡父蔵さんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽住吉町 大川健一郎さんから亡母リヨさんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽あけぼの町 大川金男さんから亡長男金政さんの香典返し 二〇、〇〇〇円

▽妹尾館 佐藤栄助さんから亡父重助さんの香典返し 三〇、〇〇〇円

▽昭和 藤島道幸さんから亡父栄

吉さんの香典返し 二〇、〇〇〇円
▽仲町 田村文茂さんから亡父茂一郎さんの香典返し 三〇、〇〇〇円



誕生おめでとうございます
3月1日〜3月15日

- 宇佐美貴子(好勝 長女) 旭町
- 河村 紀子(武夫 長女) あけぼの
- 谷藤 喜子(光樹 二女) 元新町
- 長谷川佳世(広 長女) 掛泥
- 相馬めぐみ(厚 長女) 東田
- 近藤真美子(正也 長女) 太田
- 佐藤 貴裕(正大 長男) 街道町
- 真崎絵梨子(友司 長女) 前野
- 堀部 智哉(明博 長男) 葛黒
- 中島 隆一(隆雄 長男) 川口
- 畠山 貞春(勇治 長男) 福住町
- 佐藤真奈美(金一 長女) 摩当
- 千葉 航(博明 三男) 中屋敷
- 松浦 真義(義忠 長男) 堂ヶ岱

二人の前途を祝福いたします。
千葉 克明 深 関
畠山 美輝子 綴子 大畑

おくやみ申しあげます
大川 金政(30歳) あけぼの
佐藤 重助(63歳) 妹尾館
藤島幸之治(76歳) 太田